



学習

場面の様子に着目して読み、しようかいしよう

「一つの花」を、場面のうつりかわりや、登場人物の行動や会話などに気をつけて読みましょう。そして、心にのこった言葉や作品のとくちよう、自分の感想などから選んで、読んだことがない人にも分かるようにしようかいしましょう。

場面や登場人物の気持ちに気をつけて読もう

▼「一つの花」の設定をたしかめましょう。

- 登場人物はだれで、どんな人ですか。
- 一つの時代の物語ですか。
- きせつはいつですか。
- どんな場所がえがかれていますか。

▼登場人物の行動や会話に着目し、それぞれの

場面の登場人物の気持ちや世の中の様子、出来事をたしかめましょう。

作品をしようかいしよう

① 次の手順で、作品をしようかい

しましょう。

- (1) しようかいする相手を決める。
- (2) 取り上げたい事がらを、次の中からいくつか選ぶ。

- 題名と作者
- 登場人物
- あらすじ
- 出来事
- 心にのこった言葉や文
- 感想や考え



- 場面の様子や出来事と、登場人物の気持ちをどのように結びつけて考えましたか。
- 「一つの花」の何を取り上げ、どのようにしようかと思いましたか。

自分の考えをもとに
 なぜ、「一つの花」という題名がつけられたのだと思いますか。考えてみましょう。

▼「一つだけ」という言葉は、最後の場面には出てきません。次のことに気をつけて、戦争中と戦争後の場面をくらべ、「一つだけ」という言葉が出てこないわけを考えてみましょう。

- ・コスモスの花
- ・食べ物
- ・登場人物の行動

登場人物の行動や会話 ゆみ子 「一つだけちようだい。」 お母さん 「じゃあね、一つだけよ。」	登場人物の 気持ち	世の中の様子や 出来事
------------------------------------------------------------	--------------	----------------

5

ふだん使っている言葉でも、どんなとき、どんな思いで言うかで、本当に悲しい言葉になることがあります。
 わたしは、そのことを「一つの花」で知りました。
 この作品は、――。



10

- ・作品のとくちよう——組
み立てや表現^{げん}など
- (3) 選んだ事がらごとに、つたえたいことをカードに書き出す。
- (4) しようかいの中心と、話の順番を考える。
- (5) 話し始めと結び、相手にふさわしい話し方を考える。

5